

正観

2024年 2月号

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する)
会長 遠藤 勝雄 ・ 幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

今年度最後の地区例会が山形県村山市で行われました。村山市は居合道を創始した林崎甚助重信の生まれ故郷で、甚助が祀られた居合神社や道場もあり居合道の聖地です。

初日の会場となった村山市武道館での開会式で、遠藤会長のお声がけにより令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福を祈り参加者全員で黙とうを捧げました。改めて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、今回の例会には地元から新入会員の参加や体験参加が多数あり、大変活気のある例会となりました。また、今回も講師の遠藤勝雄先生には初日の審査研修と2日目の講習会の講師として格別なご指導を賜り大変有難うございました。

今年度の会員の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、来年度も生涯剣道の一環として各種事業に参加していただければ幸いです。

皆様方の益々のご健勝とご精武をお祈り申し上げます。

NPO 法人 国際社会人剣道クラブ 東北地区クラブ

幹事長 三條 貞夫



1 山形県村山市例会のご報告！

1月27日(土)、28日(日)の2日間、矢作和雄先生のお骨折りにより山形県村山市の村山市武道館および村山市民体育館、クアハウス基点を会場に、今年度第5回目の地区例会が開催されました。遠藤会長から「今年度最後の例会。一年間の総仕上げとしてください。」とご挨拶を賜り、会員一同身を引き締めて取り組み充実した例会となりました。

初日は審査研修・まわり稽古・指導稽古、二日目は会員の要望により上段への対応を遠藤先生から実技指導していただきました。二日目の内容については三條先生が次段にまとめてくださいましたので、ご精読ください。

二日間を通して遠藤先生から「学んだことをしっかり稽古して身につけてください。耳学問では何にもなりません。」と繰り返し激励と期待の言葉をかけていただきました。懇切丁寧にご指導賜りました遠藤先生、曾根先生、佐藤先生、三條先生をはじめ、立派な会場をご高配くださいました矢作先生、ご参加くださいました会員17名並びに地元の先生方に感謝申し上げます。今回ご都合のつかなかった皆様もどうぞ次回は是非ご参加くださいますようお願いしております。

1月27日(土)

審査研修 八段受審および受審予定者の立ち合いに対し遠藤先生からご指導ご助言を賜りました。一部を以下に記載させていただきます。

～技を出す前の剣道を研究せよ。生死の間での攻防は心の修行～

- ・キーワードは「攻め」
- ・構えはできていて姿は良いが勢いが無い。
- ・技の元は心法の問題である。
- ・間合いが遠いと当たってもかすり傷。もう一つ攻めて相手を動かすこと。相手を遣って「必然の打ち」を出す。
- ・ギリギリの生死の間合いで捨てるか、出させて打つか、引き出して乗って打つか、相手を良く見て遣う。
- ・間合いの研究、諸手突きができる間合いを研究すること。
- ・受けっぱなしは駄目。打つことだけ、や打たれないようにするだけ、は駄目。
- ・相手を見て遣う。どんな相手にも遣えるような気位を示す。
- ・審査では攻防の理合を見られる。気で負けた方が(苦しくなって)技を出すからかすり傷にしかない。
- ・相手を遣って必然の技を出すこと。
- ・剣先で中心を取る。もし刀だったら相手の剣先が自分の喉元にあったら斬っていけない。相手の剣先を中心から外す。相手の中心を崩す。動かして打つ。
- ・相手の動作を観る。観て制する。観て対応する。
- ・緩急強弱で攻める。
- ・「初太刀の大事」、攻め勝った証として技を施す。無駄打ちをなくし捨てきって打つ。守りながら打つのは捨てきった打ちにならない。

- ・懸待一致。相手を見て、（相手の）影のように相手に対応する。独楽体（激しく回っているが静止しているように見える）のような攻めの気迫で気と気をぶつける。気をまとめて、気を運んで打ち切った剣道をする。



廻り稽古

続いて会員同士の廻り稽古を2分×5回実施しました。

指導稽古

引き続き、遠藤先生、曾根先生、佐藤先生、三條先生に元にご指導いただきました。



懇親会

最上川の絶景を眺めながら広々した温泉でゆったりと稽古の疲れを癒し第二道場の始まりです。山形牛をいただきながら美酒を堪能し、剣道談議に花が咲き大いに盛り上がりました。

冒頭、昨年11月の東京審査において初挑戦で見事六段にご昇段された及川成美先生の祝賀があり遠藤会長より記念品が贈呈されました。及川先生から「ご指導いただいたことに気を付けて、ただ忠実に守ろうとしていただけです。より一層気の引き締まる思いです。」と感謝と決意の言葉が述べられました。

続いて新入会された鈴木裕之先生（山形）のご紹介がありました。皆様これからどうぞ、よろしく願いいたします。





1月28日(日)

○講義と実践

会員からの要望で「上段の構え」に対する攻略法について、遠藤先生から「上段の特性」「上段に対する技」「上段からの技」などについて解説の後に実際の技の稽古を实践いたしました。

上段の方との稽古の機会はなかなかありませんが、試合や審査会で遭遇する場合がありますので大変貴重な講習会となりました。

<講義>

上段対策は二刀対策にもつながる。

「相手を知り、己を知る」・・・「上段を知り、対策を知る」

- (1) 上段の特性
- (2) 上段に対する構え、攻め
- (3) 上段に対する仕掛け技 (4) 上段に対する応じ技
- (5) 上段からの技
- (6) 上段からの仕掛け技
- (7) 上段からの応じ技
- (8) 稽古の心構え





<実践>

2人1組となって上段を交代しながら構え合い、講義内容に準じて技の稽古を行いました。慣れない構えに戸惑いながらも上段の特性を意識しながらの稽古を通し、上段に対して攻めるときは中段に対するよりも強い気持ちが必要なことや、擦り上げ技の竹刀の方向性、足捌きは大変参考になりました。

参加者

宿泊；遠藤勝雄、曾根孝悦、佐藤孝康、三條貞夫、矢作和雄、阿部東悦、阿部東司、三浦均、三浦隆昭、佐藤弘明、細矢国昭、小淵俊江、鈴木裕之、及川成美、渡邊一仁、江俣和代
稽古；盛島明彦、地元の先生方（順不同・敬称略）

2 令和6年度地区例会の開催について

令和6年度東北地区クラブ例会を下記により開催予定（全6回）です。ただいま調整中のため、詳細が決まりましたら、あらためて会員の皆様にお知らせいたします。

《令和6年度の予定》

開催予定時期	開催予定場所	備考
令和6年4月中旬	宮城県	総会開催、日帰り
令和6年6月	福島県	宿泊
令和6年8月31日（土）-9月1日（日）	山形県米沢市	宿泊
令和6年10月	岩手県北上市	宿泊
令和6年12月上旬	山形県	日帰り
令和7年1～2月	宮城県	宿泊

3 新会員のご紹介！

関東地区クラブに所属されておりました頼金達臣先生（現在、福島県在住）が、令和6年度から東北地区クラブに転籍いたします。どうぞよろしくお願いたします！

4 海外交流事業

台湾高雄大会が令和6年3月22日（金）～25日（月）にかけて、高雄市（武徳殿及び中山大学体育館）で開催されます。東北地区クラブからは、曾根孝悦先生、盛島明彦先生、及川成美先生の3名が参加いたします。交剣知愛で交流の輪が広がることを祈念いたします。

5 その他

年会費未納の会員が数名おります。忘れずに納入いただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆ 当クラブ副会長(本部理事長)曾根孝悦先生の著書紹介

「剣道は難しい、だから、楽しい」この著書は曾根先生が剣道を始めてから現在に至るまで、剣道を歩んできた事を集約したもので、指導の手引きや自分の剣道を高めるのに必ずや役立つものと思います。1冊 1,000円で領布致します。各地区の指導者の皆様にも是非お勧めください。数がまとまれば発送いたします。

他地区クラブの幹事長紹介

お仕事や旅行などでお出かけのときは、剣道具を持って交剣知愛の機会をおつくりください。各地区クラブでは、どこでも大歓迎をしますよ。

北海道地区クラブ幹事長代行 出村大光氏 s-bungu@axel.ocn.ne.jp

関東地区クラブ 幹事長 小川 徹氏 tetujin-30@g08itscom.net

東海地区クラブ 幹事長 足立 誠氏 makoto.adachi51@gmail.com

近畿地区クラブ 幹事長 久保達也氏 tatsuyakubotatsuya@gmail.com

中国地区クラブ 幹事長 寺本昭彦氏 z04zkxf8fe@hi3.enjoy.ne.jp

九州地区クラブ 幹事長 山田雅士氏 m.yamada.kokura.k8@gmail.com

編集後記

まだ寒さは残っていますが早春の明るい光に活力が湧いてきます。今回は上段に対して知っておくべきことおよび基本的な攻め方や技を丁寧に解説していただき、実技稽古にも時間をかけていただきました。貴重なご指導に感謝するとともに、知っているだけでは何にもならない、身につくまでしっかり稽古しなければ、と心に刻みました。

能登半島地震で被災された方々に思いを寄せて能登半島の剣道の灯が消えないようにと祈りつつ、こうして皆様と稽古できましたことに感謝申し上げます。(江俣和代)